

原料費調整制度に基づく  
平成23年10月のガス料金について  
(三島地区・与板地区)

平成23年8月30日  
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づいて平成23年10月検針分に適用される従量料金単価の見直しを行いました。

その結果、別紙のとおり、平成23年9月検針分に比べて従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり0.79円(税込)引き上げさせていただくこととなりました。

月間のガスご使用量が44m<sup>3</sup>の標準的なご家庭で、平成23年9月適用料金と比べて1カ月あたり35円(税込)の引き上げとなります。

今回のガス料金の調整は、平成23年5月～7月のLNG平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格が、前期(平成23年4月～6月)より上がったことによるものです。

なお、平成23年10月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<問い合わせ先>  
北陸ガス株式会社  
総合企画グループ 担当 渋谷  
TEL 025-245-2214

<別紙>

## 料金表（平成23年10月）

- 供給約款料金（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）  
平成23年9月に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり0.79円（税込）の引き上げとなります。  
なお、基準従量料金単価に対して、+2.20円（税込）調整して料金を算定いたします。  
また、基本料金は変わりません。

○三島地区・与板地区（42.9メガジュール/m<sup>3</sup>）（税込）

	月間使用量区分	基本料金（月額）	従量料金（1m <sup>3</sup> につき）
料金表A	0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> まで	567.00円	119.42円
料金表B	24m <sup>3</sup> 超～243m <sup>3</sup> まで	577.50円	118.98円
料金表C	243m <sup>3</sup> 超～	591.15円	118.93円

【ガス料金の計算式】

1カ月のガス料金 = 基本料金 + ガス使用量 × 従量料金単価  
（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

（税込）

ご使用量	平成23年10月料金	平成23年9月料金	増減額	増減率
44m <sup>3</sup>	5,812円	5,777円	+35円	+0.61%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1カ月あたり平均（平成18年度～22年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	平成23年5月～7月原料価格	平成23年4月～6月原料価格	基準原料価格
LNG平均価格 （貿易統計値）	61,740円/t	58,130円/t	51,520円/t
平均原料価格	17,290円/t	16,280円/t	14,430円/t

### ■平均原料価格の算定

平均原料価格 = LNG平均価格（平成23年5月～7月貿易統計値） × 0.2800  
= 61,740円/t × 0.2800  
= 17,287.200円/t  
↓（10円未満四捨五入）  
17,290円/t

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}\text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 17,290\text{円/t} - 14,430\text{円/t} \\ &= 2,860\text{円/t} \\ &\quad \downarrow (\text{100円未満切捨て}) \\ &= 2,800\text{円/t}\end{aligned}$$

■調整額(1 m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned}\text{調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 0.075\text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 2,800\text{円} / 100\text{円} \times 0.075\text{円} \times 1.05 \\ &= 2.20500\text{円} \\ &\quad \downarrow (\text{小数点第3位以下の端数は切り捨て}) \\ &= 2.20\text{円/m}^3\end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を1 m<sup>3</sup>あたり0.07875円(0.075円に1.05(1+消費税率)を乗じた値)調整します。

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1 m<sup>3</sup>あたり+2.20円(税込)調整します。
- 平成23年9月に適用される従量料金単価と比較した場合、1 m<sup>3</sup>あたり0.79円(税込)の引き上げとなります。